

スペシャルオリンピックス日本・福岡 2021年度活動報告



理事長
松尾 新吾

コロナ禍がまだまだ収束しない中で迎えた新しい年ではありますが、今年こそはと期待で一杯であります。公益社団法人としてようやく新しい活動につながるのではないかと、休止している日常スポーツプログラムが再開できるのではないかと、広島で開催予定のナショナルゲームに福岡チームが参加できるだろうか、退会したアスリートたちが再び戻ってくるだろうか、と先の見えない中でも希望を持って歩みを進めようとしております。

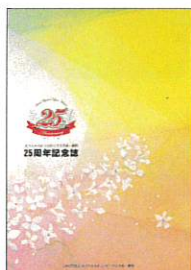
会員の皆様におかれましては、何かと気の休まらない昨今ではございますが、どうぞお健やかに益々のご活躍のほど祈念申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

設立25周年記念事業のご報告

早いもので四半世紀が過ぎました。5年毎に記念事業を行ってまいりましたが、今回は特別の年となりました。

昨年度から猛威を振るうコロナ禍のさ中、実行委員会でも対応に様々な意見のある中で、「記念誌の発行」、「デジタル式典」、「記念ポロシャツの制作」を実施いたしました。人が集まる行事が行えないためにビデオレター作りを企画し、私どものスポーツプログラム会場のある市の首長のご挨拶をビデオに収め、ホームページ上で「デジタル式典」として発表いたしました。有森SO日本理事長、服部県知事を始め、各市長様には快くご協力戴きましたことを改めてお礼申し上げます。

また、記念誌制作にも多くの企業・団体・個人の皆様のご協力を戴きましたことを厚くお礼申し上げます。今後とも皆様のご支援ご協力を賜ります様、宜しく願いいたします。



第22回チャリティゴルフ大会

10月6日、ザ・クラシックゴルフ倶楽部にて2年ぶりに開催。

素晴らしいゴルフ日和となり、102名のご参加を得て、久々に盛り上がったゴルフコンペを楽しんでいただきました。

感染症予防のため、表彰式・パーティは行わず、玄関ホールに展示した賞品の数々を、競技終了後、お一人づつのくじ引きでお持ち帰りいただくという趣向といたしました。順位賞は後日、成績表と共にお送りすることでワクワク感を2度味わっていただくことができました。

アスリート、ファミリーのお手伝いもあってご寄付は718,608円となり心からお礼を申し上げます。ご参加の皆様、並びにたくさんの賞品をご提供くださいましたスポンサーの皆様、紙面を借りまして厚くお礼申し上げます。



実行委員会副委員長 武藤 元美

2年ぶりに開催できましたチャリティゴルフ大会は、晴天に恵まれ100名を超えるご参加を頂きました!!

賞品のスポンサー様にもご支援いただき、くじ引きも楽しんで頂きました。アスリートも来てくれて助かりました。みなさんに心から感謝申し上げます。

スペシャルオリンピックス日本・福岡 2021年度活動報告

田中 晴樹さん ドリームサポーター賞を受賞!

スペシャルオリンピックスでは、スポーツ以外にも、アスリートがリーダーとして活動できるよう、アスリートリーダーシッププログラムという取り組みがあります。

今回の発表会は、その取り組みの一つであり、アスリートが社会に向けて自分の考えや思いを発信し、今後スポークスマンとして活動することにつながる機会でもあります。本年度はコロナ禍ということもあり、



YouTubeライブ配信にて開催。全国から集まったアスリートによる発表会で、福岡のアスリート、田中晴樹さんがドリームサポーター賞を受賞されました。

オンラインマラソン2021

コロナ禍でもできる事としてオンラインイベントの開催が増えています。

2020年に引き続き、2021年10月2日から11月30日にわたり、スペシャルオリンピックス日本主催の「オンラインマラソン2021」が開催されました。参加者全員でスペシャルオリンピックスの活動が行われている「201の国と地域」を回る企画、目標走行距離は約189,723kmというものです。

SON・福岡は地区組織としての参加を呼びかけ、アスリート参加者数Top10に入り、参加アスリートには記念のトートバッグ、地区にはSOグッズの詰め合せをいただきました

行ってきました、 マリソワールドすいぞくかん!

11月21日(日)、1年10ヶ月振りのイベントで、「マリソワールドすいぞくかん」へ行ってきました。約50名の参加者と共に観たイルカショーとアシカショー、「楽しかった〜!!」の声があちこちから聞こえました。コロナ禍が終わって、早く普通の生活にもどれますように。



トーチキス

アスリート 中川 理博(なかがわ まさひろ)

新型コロナの感染拡大により聖火リレーが「トーチキス」に変更になりました。

トーチキスのポーズは本番当日のセレモニーのわずかな休憩時間で前後のランナーと決めるので覚えられるかとても不安でした。

しかし、前後の方々が覚えやすいポーズを考えてくれたり、兄も出番直前まで何度も練習に付き添ってくれたので、無事にポーズを決めることが出来ました。

その時の姿がテレビや新聞などに掲載されたのでとても嬉しく思います。

普段私を支えてくれる皆さんのお陰で一生に一度の経験ができました。

これからも色々なことに挑戦したいので応援よろしくをお願いします。



合同プログラム Zoomストレッチ

酒井 智佳恵(スノーボードコーチ)

ズームストレッチは、アスリートの皆さんの顔を実際に見ながら楽しく体を動かすことができています。

普段なかなか会う事がない違う競技のアスリートとの交流も楽しみの1つです!



事務局より

広報委員会のご努力のもと、4年間の沈黙からようやくニュースレターが復活いたしました。遅くはなりましたが昨年度の活動報告をお届けいたします。

コロナ禍の中で思うに任せぬこの2年余り、精いっぱい感染予防の上、行いました事業ではあります。アスリートのモチベーション低下を防ぐためにコーチ陣が工夫を凝らしたのもございますので、どうぞ一読くださいませ。